



2027年3月期 第1四半期決算短信 (日本基準) (連結)

2026年8月13日

上場会社名 株式会社 安楽亭

上場取引所 東

コード番号 7562 URL <http://www.anrakutei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 柳 先

問合せ先責任者 (役職名) 総務人事部 次長

(氏名) 町田 英之

TEL 048-859-0555

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績 (2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	7,464	△0.1	233	△18.1	189	△26.3	156	98.7
2026年3月期第1四半期	7,467	1.2	285	△35.7	257	△39.9	78	△74.9

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 192百万円 (133.0%) 2026年3月期第1四半期 82百万円 (△74.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	33.88	—
2026年3月期第1四半期	17.05	—

(注) 当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	25,740	8,388	32.6
2026年3月期	25,747	8,265	32.1

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 8,388百万円 2026年3月期 8,265百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2027年3月期	—				
2027年3月期 (予想)		0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想 (2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	14,957	△1.9	526	△1.9	456	△4.0	288	62.36
通期	30,348	△1.4	1,303	△9.5	1,150	△12.9	762	165.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社 (社名) , 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	4,622,868 株	2026年3月期	4,622,868 株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	4,692 株	2026年3月期	4,692 株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	4,618,176 株	2026年3月期1Q	4,618,280 株

(注) 当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善等により景気は緩やかな回復基調で推移したものの、物価上昇による消費者マインドの下振れリスクに加え、円安のさらなる進行、中東情勢の緊迫化等によって依然として先行き不透明な状況が続きました。

外食産業におきましても、長期化する物価上昇と実質賃金の伸び悩みによって消費者の節約意識はなお強く、また、原材料価格やエネルギーコストの高騰、人手不足及び人件費上昇等により厳しい経営環境が継続しております。

このような環境において、当社グループは、経営理念である「食を通じて地域社会の豊かな生活文化の向上に貢献する」に基づき、お客様の基本ニーズである「安全・安心」を最重視した自然肉の商品提供を堅持しつつ、近年の消費者動向の変容に適応し、お客様に選んでいただけるお店づくりを進めるため、コストパフォーマンスや体験価値を追求した商品開発及び販売戦略に注力しております。

店舗の展開については、引き続き既存店舗のリニューアル改装やグループ内での業態見直しを計画的に進めております。また、昨今のニーズ多様化に対応する新業態開発にも継続的に取り組んでおり、2026年7月には、既存の安楽亭店舗をファストカジュアル型の新業態「肉好き食堂グリタ」に改装してオープンする運びとなりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高74億64百万円（対前年同期比0.1%減）、営業利益2億33百万円（対前年同期比18.1%減）、経常利益1億89百万円（対前年同期比26.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億56百万円（対前年同期比98.7%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 安楽亭・七輪房業態

安楽亭・七輪房業態の当第1四半期連結累計期間末の店舗数は152店舗であります。内訳は直営107店舗、暖簾11店舗、F C 34店舗であります。

販売促進及び商品開発につきましては、「安楽亭」では、丼メニュー、冷麺、ビビンバ等に焼肉1皿を組み合わせた「&（アンド）焼肉シリーズ」の販売等、コストパフォーマンスの高いメニュー戦略を継続しております。合わせて、人気の食べ放題メニューを拡充し、多彩なタレやトッピングでのアレンジを楽しむ「味変ヤキニク」や「味変ループサムギョプサル食べ放題」を新たに導入しました。

「七輪房」においては、ゴールデンウィークや母の日、毎月の「肉の日」等時季のイベントでの集客を狙い、お得な大皿や盛合せのメニューを販売したほか、日本各地のブランド和牛を期間限定、店舗限定で販売する「ニッポンの銘柄和牛シリーズ」を展開しました。

以上の結果、安楽亭・七輪房業態の当第1四半期連結累計期間の売上高は24億74百万円（対前年同期比10.6%減）となり、セグメント利益（営業利益）は72百万円（対前年同期比2.3%増）となりました。

② アークミール業態

アークミール業態の当第1四半期連結累計期間末の店舗数は133店舗であります。内訳は直営131店舗、F C 2店舗であります。アークミール業態には、「ステーキのどん」、「しゃぶしゃぶどん亭」、「フォルクス（ステーキ）」を含んでおります。

販売促進及び商品開発につきましては、ステーキのどんの「ワイルドポークマウンテン」、しゃぶしゃぶどん亭の「桜漂う春の鯛だししゃぶしゃぶ」等の新メニュー販売のほか、フォルクスの「特選ハラミステーキ」の期間限定販売等、メニューのバラエティを拡充して来店促進を図りました。

以上の結果、アークミール業態の当第1四半期連結累計期間の売上高は48億57百万円（対前年同期比5.9%増）となり、セグメント利益（営業利益）は2億81百万円（対前年同期比8.8%減）となりました。

③ その他業態

その他業態の当第1四半期連結累計期間末の店舗数は9店舗であります。内訳は直営7店舗、F C 2店舗であります。なお、その他業態には、「からくに屋（焼肉）」、「花炎亭（焼肉）」、「上海菜館（中華）」、「カフェビーンズ（喫茶）」、「安楽亭ベトナム（焼肉）」を含んでおります。なお、安楽亭ベトナムでは、2026年5月にホーチミン市内にて新店舗「ファンシックロン通り店」をオープンし、現在4店舗体制にて展開しております。

その他業態の当第1四半期連結累計期間の売上高は1億32百万円（対前年同期比20.2%増）となり、セグメント損失（営業損失）は11百万円（前年同期はセグメント損失2百万円）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ7百万円減少し、257億40百万円となりました。これは、売掛金の減少等が要因です。負債は、前連結会計年度末に比べ1億30百万円減少し、173億51百万円となりました。これは、借入金の減少、支払手形及び買掛金の減少等が要因です。純資産は、前連結会計年度末に比べ1億22百万円増加し、83億88百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加、配当金の支払いによる減少等が要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、2026年5月14日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,988,510	8,033,485
売掛金	1,382,156	1,165,158
商品及び製品	655,652	721,101
仕掛品	10,858	15,921
原材料及び貯蔵品	1,252,830	1,157,604
前払費用	311,062	348,802
その他	91,612	80,624
貸倒引当金	△1,630	△1,530
流動資産合計	11,691,053	11,521,169
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,155,830	3,284,126
機械装置及び運搬具（純額）	33,979	37,964
工具、器具及び備品（純額）	710,546	743,191
土地	6,068,882	6,068,882
リース資産（純額）	110,087	107,434
建設仮勘定	12,663	9,732
有形固定資産合計	10,091,990	10,251,332
無形固定資産	646,471	665,118
投資その他の資産		
投資有価証券	260,501	303,452
長期前払費用	43,238	38,119
繰延税金資産	166,445	148,983
敷金及び保証金	2,830,970	2,795,331
その他	27,453	27,453
貸倒引当金	△23,313	△23,313
投資その他の資産合計	3,305,295	3,290,027
固定資産合計	14,043,757	14,206,478
繰延資産		
社債発行費	13,005	12,663
繰延資産合計	13,005	12,663
資産合計	25,747,816	25,740,310

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,004,895	895,755
短期借入金	2,350,000	2,450,000
1年内返済予定の長期借入金	2,417,890	2,407,724
リース債務	49,298	50,360
割賦未払金	590,922	585,058
未払金	319,453	344,270
設備関係未払金	66,224	78,085
未払費用	843,136	870,728
未払法人税等	210,208	96,136
未払消費税等	195,347	315,768
賞与引当金	145,150	221,170
資産除去債務	—	6,850
その他	426,869	309,465
流動負債合計	8,619,396	8,631,374
固定負債		
社債	500,000	500,000
長期借入金	5,829,606	5,687,087
リース債務	132,566	127,224
長期割賦未払金	1,271,624	1,275,638
繰延税金負債	107,068	108,444
役員退職慰労引当金	181,312	184,549
退職給付に係る負債	388,578	393,011
資産除去債務	349,533	346,790
その他	102,260	97,458
固定負債合計	8,862,550	8,720,204
負債合計	17,481,946	17,351,578
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,790,461	3,790,461
資本剰余金	1,166,680	1,166,680
利益剰余金	3,200,160	3,287,370
自己株式	△14,181	△14,181
株主資本合計	8,143,121	8,230,331
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	109,537	142,614
為替換算調整勘定	16,801	19,041
退職給付に係る調整累計額	△3,590	△3,254
その他の包括利益累計額合計	122,749	158,401
純資産合計	8,265,870	8,388,732
負債純資産合計	25,747,816	25,740,310

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	7,467,835	7,464,009
売上原価	2,832,037	2,786,305
売上総利益	4,635,797	4,677,703
販売費及び一般管理費	4,350,578	4,444,035
営業利益	285,218	233,667
営業外収益		
受取利息	224	191
受取配当金	2,570	3,082
受取地代家賃	13,221	11,761
その他	12,298	5,190
営業外収益合計	28,315	20,225
営業外費用		
支払利息	50,310	60,880
賃貸収入原価	3,074	1,604
その他	2,888	1,780
営業外費用合計	56,274	64,264
経常利益	257,260	189,628
特別利益		
固定資産売却益	318	—
受取補償金	—	62,341
特別利益合計	318	62,341
特別損失		
固定資産除却損	1,982	159
減損損失	2,229	4,043
賃貸借契約解約損	35,202	5,178
特別損失合計	39,414	9,380
税金等調整前四半期純利益	218,164	242,589
法人税、住民税及び事業税	70,046	77,312
法人税等調整額	69,353	8,794
法人税等合計	139,399	86,106
四半期純利益	78,764	156,482
親会社株主に帰属する四半期純利益	78,764	156,482

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	78,764	156,482
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,212	33,077
為替換算調整勘定	△2,255	2,239
退職給付に係る調整額	△244	335
その他の包括利益合計	3,712	35,652
四半期包括利益	82,477	192,135
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	82,477	192,135

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	安楽亭・七輪房 業態	アークミール 業態	その他業態	計			
売上高							
顧客との契約 から生じる収 益	2,769,335	4,588,488	110,012	7,467,835	7,467,835	—	7,467,835
外部顧客への 売上高	2,769,335	4,588,488	110,012	7,467,835	7,467,835	—	7,467,835
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,769,335	4,588,488	110,012	7,467,835	7,467,835	—	7,467,835
セグメント利益 又は損失(△)	70,412	308,408	△2,868	375,952	375,952	△90,733	285,218

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「安楽亭・七輪房業態」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては2,229千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	安楽亭・七輪房 業態	アークミール 業態	その他業態	計			
売上高							
顧客との契約 から生じる収 益	2,474,655	4,857,072	132,280	7,464,009	7,464,009	—	7,464,009
外部顧客への 売上高	2,474,655	4,857,072	132,280	7,464,009	7,464,009	—	7,464,009
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,474,655	4,857,072	132,280	7,464,009	7,464,009	—	7,464,009
セグメント利益 又は損失(△)	72,047	281,116	△11,129	342,033	342,033	△108,365	233,667

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「アークミール業態」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては4,043千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	180,336千円	212,106千円